



カリオン

Vol.6



2008年5月

発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 湯浅志郎
編集責任者 事務部長 船田理
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
TEL番号 079(294)2251(代表)

就任のご挨拶

学校長 湯浅 志郎



私は前学校長 鍋山晃先生の後を継いで、平成20年4月に学校長を拝命いたしました。鍋山前学校長の赤十字看護教育への熱い思いを引き継いで、私も微力ながら努力をしていく所存です。宜しくご鞭撻の程、お願いいたします。

赤十字看護専門学校では母体病院(姫路赤十字病院)の院長が学校長を兼任することになっています。これは赤十字病院が元来、赤十字看護看護養成の実地訓練の場として設置された由来によるものと考えられます。ですから、学校長が病院長を兼任すると言ったほうが正しいのかもしれませんが。看護教育に臨地実習は欠かせない重要な科目です。医療は実践の科学といわれ、国民の健康を守る担い手として、「いつでも、どこでも、だれにでも」手を差し伸べられる知識と技術と倫理感が求められます。学内の授業だけでなく実習場の責任者としても、教育環境の充実に努めていく所存です。

「人材」は「人財」と言われます。姫路赤十字病院は看護教育だけでなく、研修医を始めとして医療職に就く人たちの教育病院として登録されています。組織や社会を動かすのは「人」です。優れた教育は他の何にも代えがたい財産です。これからの医療は患者さん中心のチーム医療が益々進んでいくと思われまます。インフォームド・コンセントによって、医療従事者は患者さんの自己決定を支援する立場になります。医療専門職者がそれぞれの専門の立場から患者さんにとって何が一番大事なことなのか、患者さんの思いを大切にしながら多角的に検討し患者さんの自己決定を支援する必要があります。生命が一番であることはもちろんですが、生命科学の進歩した現在では、昔のように生命が第一と簡単に言い切れない状況も生まれています。臓器移植や遺伝子治療のみならず、人体を形づくるあらゆる細胞に変換するES細胞の実用化など、生命倫理が問われる時代を迎えました。

このような時代にあって難しい問題を多くはらんでいます。病気だけでなくその人の人生にかかわる専門職者としての誇りと志を高くもった支援者になるために、研鑽して欲しいと願っています。私は学生の皆さんが充実した学校生活を送れるように、学生の皆さんやご家族の皆さん、地域の方々のご意見も聞きながら、学校運営をより改善できるよう努力したいと考えています。

姫路赤十字看護専門学校教育理念

【人道】

赤十字における看護基礎教育のねらいは、赤十字の基本原則である「人道」を基盤に、看護の分野において社会の要請に応え得る、豊かな人間性と看護に関する幅広い能力を兼ね備えた看護の実践者を育成することにある。赤十字は、国際的な視野に立って人の命を守り、個人の尊厳と権利を尊重する。その看護活動は、国籍・人種・信条・政治および社会的立場のいかんにかかわらず、人々のあらゆる健康レベルに応じて健康上の問題が解決されるよう支援することである。複雑な要因に影響される健康問題は総合医療活動として包括的、組織的に取り組まれるようになってきている。この保健医療福祉活動の一環を担う看護の機能は、個人のみならず家族、集団、コミュニケーションへのアプローチへと拡大するとともに、より専門的な実践と調整的役割が期待されている。

したがって赤十字における基礎教育終了時には、保健医療福祉システムの一員として、また国内外における赤十字活動の要員として、個人を尊重した看護活動ができる基礎能力を有し、将来看護の発展に貢献できる看護実践者の育成を目指すものである。

【目的】

「人道」「公平」「中立」「独立」「奉仕」「単一」「世界性」の赤十字の基本原則に基づき、特に最高原則である「人道」を基調として、専門職者である看護職の責務を果たすために必要な能力を開発する。

【目標】

1. 看護の対象である人間を総合的に理解する。
2. 健康状態や生活の場に応じた基礎的看護が実践できる。
3. 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止する。
4. 看護師として他の保健医療福祉チームと協働する基礎的能力を身につける。
5. 看護の実践に際しては、日本看護協会が規定する「看護者の倫理綱領」をよく理解し、遵守する。
6. 赤十字の基本原則を理解し、国内外を問わず赤十字の活動に高い関心をもち、また積極的に参加する。
7. 専門職者としての自覚と誇りをもち、自己啓発する。
8. 効果的な人間関係を築くための基礎的能力を身につける。

平成18年4月

前期行事予定

4月 8日(火)クラスⅠ 入学式
11日(金)新入生歓迎会
26日(土)～5月6日(火)保健週間

5月 12日(月)ナイチンゲール祭
14日(水)クラスⅠ 兵庫県支部訪問
30日(金)～31日(土)クラスⅡ 第4ブロック防災訓練

6月 3日(火)～16日(月)クラスⅡ 基礎看護学実習Ⅱ
25日(水)～26日(木)クラスⅠ 基礎看護学実習Ⅰ-1

7月 16日(水)～17日(木)クラスⅠ・Ⅱ トレーニングセンター
25日(金)～8月26日(火)クラスⅠ・Ⅱ 夏季休業
31日(木)～クラスⅢ 夏季休業

8月 ～26日(火)夏季休業
6日(水)・13日(水)・20日(水)オープンキャンパス
28日(木)・29日(金)・9月1日(月)クラスⅢケースレポート発表

9月 16日(火)～30日(火) クラスⅠ・Ⅱ 期末試験

第110回生 入学式

姫路赤十字看護専門学校 入学式



新入生宣誓

桜も満開となり、春爛漫の今日のこのよき日に、姫路赤十字看護専門学校の入学式を無事迎えられたことをとてもうれしく思います。私たちはこれからこの学校で、看護師としてのすばらしい資質を身につけるべく、先生方や先輩方の話を良く聞き、仲間と共に一生懸命頑張っていきたいと思えます。そしてその中で様々な経験を通し、看護に関する正確な知識はもちろんのこと患者様の身体面だけでなく精神面においても手助けできるような豊かな人間性を育みたいと思えます。今私たちが生きる社会は、豊かさや便利さを手に入れた一方で、環境破壊や情報の氾濫、少子高齢化といった様々な問題を抱え、多様化しています。私たちはそんな社会に対応した看護の提供を目指し、常に努力しなくてはなりません。そして変化する社会と共に看護を進歩させると同時に大切な看護師の奉仕精神を貫き通すことを誓います。

平成20年4月8日

(新入生代表：大塚 理紗)

自治会長歓迎の言葉

110回生のみなさん、
新生活にはもう慣れましたか??まだまだ戸惑うことばかりだと思いますが、充実した学校生活を一緒に過ごしましょう!!

(学生自治会長
クラスⅢ：矢木 寛子)



優勝チーム

おめでとう〜

新入生歓迎会



自己紹介ゲーム



二人三脚



風船運び

退任記念講演

「私のアルバムから－私と赤十字とのかかわり－」

私は平成20年3月末を以って、姫路赤十字病院長（姫路赤十字看護専門学校長）を退任します。この姫路赤十字病院には看護師さんや看護学生さんとの思い出がたくさん詰まっています。特に若くて純粋な看護学生の皆さんからは、言い得ぬエネルギーを買いました。私が心から笑顔になれたのは、学生の皆さんと一緒にいる時ではなかったかと思えます。

私は船場川の近くの材木町という所で生まれ育ちました。子どもの頃の遊び場といってもいいほどの姫路赤十字病院で、通算35年余の長きにわたりお世話になろうとは予想もしていないことでした。岡山大学医学部卒業後、同大学付属病院でインターンを経験しました。その当時は小児科医になりたいと考えていましたが、尊敬する師に導かれて外科医となりました。大学病院での勤務やカナダ、マックギール大学での研究者としての経験は、私の

医師としてのその後の人生に大きな影響を与えたように思います。

今、皆さんに言いたいことは、若い時は思い切り勉強をして欲しいこと、それも狭い範囲に囚われず、少々回り道になっても広い世界を見聞し、自分の世界を拓けることです。赤十字看護師は単なる看護師ではありません。アンリー・デュナンの心「人道・博愛」を実践できる赤十字看護師になるために、真摯に学習に励んで欲しいと願っています。

（前学校長・姫路赤十字病院名誉院長：鍋山 晃）



キャンパスだより

クラスⅡ

この1年間学校生活を送る中で、一つ一つ知識が増えていくことに喜びを感じるようになりました。実習では、今までにないくらい一生懸命考え、仲間と支え合いながら、本当にたくさんのことを経験することができました。2年生になりますが、更に向上心を持って、頑張っていきたいと思えます。

（クラスⅡ：中村 美菜）



右は5東病棟 糸谷看護師

クラスⅢ

放射線科・検査室実習を通して、検査などを受ける患者さんに対してどのような看護をしていくことが必要か、看護師の役割について学ぶことが出来ました。また、他職種の方とかわることでチーム医療の重要性を感じることができました。これらの体験を活かし、これから先の実習に臨んでいきたいと思えます。

（クラスⅢ：長谷川 温子）



右は検査部 西詰検査技師



左は放射線科 天野係長

第107回生 卒業式



平成20年2月29日卒業

卒業を祝う会

今回は「ありがとう」をテーマに、笑いあり、涙ありのパーティとなりました。このパーティを通して先輩方の魅力を多く知ることができただけに、いっそう別れを惜しむ気持ちが強くなりました。これからも先輩方は一番身近な目標です。ご卒業おめでとうございます。

(クラスⅢ：森田 祐紀恵)



「看護師国家試験 全員合格!!」

「全員合格!」この言葉が本当に嬉しかったです。国試を通して、1人で頑張る強さと仲間と頑張れる強さが本当に大切だと実感しました。看護師になるための難関をみんなで突破でき、スタート地点に立てたので、国試で身につけた強さを糧に個々の目指す看護師になれるよう日々励みたいと思います。

(平成19年度卒業生 姫路赤十字病院勤務：鈴木 沙也加)



卒業生のことは



看護学校での生活の中でたくさんの人と出会い、その中ですこしずつ成長できたと思います。まだまだ勉強不足ですが、患者様が笑顔になれるような看護を提供できるよう、看護師として頑張っていきたいです。

(平成19年度卒業生 姫路赤十字病院勤務 鳥谷 佳美)

職員紹介

姫路赤十字看護専門学校は、1909年(明治42)、修業年限3年の救護看護婦養成所として開設され、以来99年の歴史を経ました。今年100年目に当たります。一世紀にわたり日本の看護界のリーダーを多く輩出してきたこの学校で、お仕事をさせていただくことを身に余る光栄と受けとめています。時間の流れに沿った歴史の縦軸と、卒業生の広がりを見る横軸、赤十字の理念「人道」を中軸に縦横無尽にクロスする「看護の心」をみなさんとともに学び続けたいと思っています。



榊山 たみ子 副学校長



船田 理事務部長

新入生の皆様、入学おめでとうございます。

私は、平素、病院に勤務し、皆様と会う機会が少ないのですが、真摯な皆様の姿に接するたびに新鮮な驚きと自身も頑張らなければとの思いを強くしています。

裏方として学校運営の一旦を担わせていただいておりますが、皆様が感受性を育み豊かな表現力を身につけた看護師に育ち、また新たな驚きを与えてくだされば、望外の喜びと思っています。



柳 めぐみ

(教務主任)

- ① 小児看護学
- ② なんとかなるさ
- ③ 推理小説を読むこと



名村 かよみ

(実習調整者)

- ① 在宅看護論
- ② すぐすれば、すぐむ
- ③ 愛犬と散歩



糟谷 緑

- ① 精神看護学
- ② 遊び心と好奇心
- ③ 自然とのふれあいや遺跡めぐり



田畑 淑子

- ① 基礎看護学
- ② 山野草の如く
- ③ 落語を聴きながらドライブ



松井 里美

- ① 成人看護学
- ② なせば成る
- ③ バレーボール



横田 裕美子

- ① 小児看護学
- ② ゆとりをもって・・・
- ③ スキー・湯めぐり・花の観賞



藤元 由起子

- ① 基礎看護学・成人看護学
- ② 明るく・元気に・遅く
- ③ 華道・茶道・映画鑑賞



井上 恵実

- ① 老年看護学
- ② 明日にまわさない
- ③ 釣り



西谷 由子

- ① 母性看護学
- ② 好きこそもの上手なれ
- ③ ソーイング



山下 秀美

- ① 母性看護学・精神看護学
- ② やりぬく心
- ③ 映画鑑賞



尾形 治美

- (事務係長)
- ② 節約
- ③ 阪神タイガースの応援



中嶋 和美

- (事務)
- ② いつも笑顔と思いやり
- ③ 食・旅・楽

① 専門分野 ② モットー ③ 趣味 をのせています。



歴史シリーズ

歴史

(副学校長 樺山 たみ子)

私の記憶では、薬師山にあった旧校舎の教務室前の掲示板にあった。当時（30年以上前）は、まだ字も鮮明であったが、今はほとんど読み取れないほどに劣化している。しかし、どなたが書かれたのか教育の本質を突いた句である。その当時から心に刻み込まれている。純真に看護師を目指し、向学心に燃えた学生、その学生が立派な看護師に育つかどうかは土壌としての教育環境にかかっていると思うと、新しい入学生を迎えた新年度、あらためて気持ちが引き締まる思いである。

この短冊には、次のように書かれている。
— 蔭く種の 善し悪しによる みのりかな —



2007年度 授業評価結果

姫路赤十字看護専門学校

集計区分		総計	授業展開	授業態度	
基礎分野合計	平均点	3.80	3.84	3.75	
	最高点	4.61	4.60	4.64	
	最低点	2.80	2.76	2.83	
専門基礎分野合計	平均点	3.80	3.86	3.66	
	最高点	4.55	4.65	4.35	
	最低点	2.77	2.70	2.92	
専門分野合計	講義	平均点	4.20	4.27	3.96
		最高点	4.66	4.76	4.51
		最低点	3.65	3.65	3.51
	演習	平均点	4.33	4.22	4.66
		最高点	4.62	4.55	4.85
		最低点	4.20	4.05	4.49
	実習	平均点	4.28	4.40	4.13
		最高点	4.94	5.00	4.86
		最低点	3.61	3.58	3.43

5段階で評価しています。

授業評価

本校では、「学生による授業評価」を、臨地実習も含め全ての科目で実施しています。その目的は教育を改善するためです。結果は表の通りです。

授業評価結果を見ると、前年度同様「授業展開」に比べて「授業態度」はやや低く、専門科目の演習だけは「授業態度」のほうが高くなっています。基礎分野、専門基礎分野の最低点が低いのが気になります。

結果は担当講師や臨床に伝えて、今後に活かしていきたいと考えています。学生の皆さん、大変でしょうが自由記載も含めて、協力お願いします。

(教務主任：柳 めぐみ)

第97回看護師国家試験を終えて

第97回看護師国家試験は、2月24日に実施され、合格発表が3月26日に行われました。合格率は全国で90.3%、本校の学生は100%でした。国家試験合格に向けて、学生は3年間学習や実習に取り組んできました。

試験の全体的な傾向は前年度と比較し、やや難易度が増し、また出題の順番が変わったりと、戸惑ったようです。看護師として基本的な知識が幅広く出題され、病態生理を問う問題にとどまらず、臨床での実践場面を意識した内容や具体的な看護援助について細かく問われており、実際に実習で関わった患者様のことを思い出しながら、学生は落ち着いて試験に臨みました。

保険医療制度の改正により、看護の質が人数的な基準によって求められ、また、健康維持増進の必要性と疾病の予防、慢性疾患の在宅管理など、看護師に求められるものや活動する場は医療施設内にとどまりません。

看護師は安全に確実に提供できる確かな知識が求められています。基礎的な知識を積み上げ、着実に学習・実習などを通して学び、自分のものにしてもらいたいと思います。

(専任教師：横田 裕美子)



私の専門は、淡水産藻類の分類です。しかし、野山の草木、町並み、古建築、年中行事など、あらゆるものに興味を抱きますので、どこに出かけても楽しいことがいっぱいあります。

皆さんは、さまざまな人に接する仕事に就くわけですから、専門以外に、いろいろな事象に関心を持ち、幅広い知識を身に付けていただきたいと思います。

(解剖生理学Ⅰ・生化学講師：家永 善文)
元 姫路科学館館長

昨年度から看護学概論Ⅱ「看護管理」を担当させて頂いています。久しぶりの講義ということで緊張もありましたが、学生の皆さんの反応に助けられながら15時間を進めることができました。教科書の文字を追うのではなく、臨床での経験を話題にすると、やはり皆さん頭をぐいっと持ち上げ頷きながら聞き入ってくれます。これからも事例を通して皆さんと会話をしながら共に学んでいきたいと考えています。



(姫路赤十字病院看護部長：三木 幸代)



「栄養学」の講義を担当させて頂いています。

欠乏の栄養から過剰の栄養へ、時代を反映して栄養の問題も多様化し変遷してきました。さらに、食物栄養学から人間栄養学へと栄養問題を捉える視点が大きく変わってきています。

人間の健康状態や栄養状態をよりよい状態へ改善するためには多職種チームでの取り組みが重要です。一緒に実践していきましょう。まずは皆さんの食生活から見直してみてください。よろしくお願ひします。

(姫路赤十字病院栄養課長：木下 康子)

委員会活動報告 委員長・副委員長



私たちは授業前の呼びかけ・号令、席替えの配置、クラスへの連絡、HRの司会進行等を行っています。

クラスⅡは活気があり皆で協力のできるクラスなので、その強みをより引き出すために、私たちは率先して皆を引っ張っていきたくと思います。

まだまだ未熟で頼りないですが頑張っていきたいと思っています。

(クラスⅡ 委員長：岡田 美樹)
副委員長：高杉 将人)

108回生は最高学年となり、日々充実した臨地実習を送るために頑張っています。

「やる時はやる108回生」をモットーに、みんなで助け合いながら、「第98回看護師国家試験全員合格」という大きな目標に向かって、各自で目標を作りコツコツ勉強していきたいと思っています。

(クラスⅢ 委員長：西垣 英理)
副委員長：岩崎 志帆)



院内学術研究発表



第20回 院内学術研究発表会が、平成20年1月10日(木)、18日(金)姫路赤十字病院で開催され、学校から「看護基礎教育と臨床のギャップを埋める看護技術学内演習の試み」について発表した。基礎教育終了時の知識・技術の修得レベルと、臨床で求められるレベルには、ギャップがあると言われている。今回は、看護技術学内演習における工夫を紹介した。

学生は患者役や看護者役を通して「患者像をイメージすることの大切さ」「待たされたり未熟な援助を受ける患者役への感情」「コミュニケーションやボディメカニクス・環境調整などの看護技術の統合の必要性」など様々なことに気付く。これらの気付きは、患者の思いを受け止めて患者の個性に配慮して実施するという看護の基本に立ち戻る機会となっている。今後も技術教育の工夫を積み重ねていきたい。

(専任教師：田畑 淑子)

健康講座「五月病」

爽やかな新緑の季節となりました。保健週間も終わり、皆さんも学校生活に慣れてきた頃でしょうか。

「五月病」とは、この頃から、何となく気が滅入って勉強できない、集中できないなど無気力な状態になることから、この名がつけました。

受験からの開放や、これからの目標を見失ったり、新しく始まった生活が理想とは違い、環境に適応できないことなど、複数の要因が原因となっています。

対策・予防は、ストレスを貯めずに、自分なりの気分転換の方法を見つけたり、新たな目標や関心を見つけることです。症状が良くならないときは、家族や友人などに相談したり、医療機関を受診するようにしましょう。

(専任教師：藤元 由起子)



特別寄付金をいただきました。

平成18年度に多額の寄付をいただいた大塚安様より、今年も兵庫県支部を通じてたくさんの寄付をいただき、大型液晶テレビ(PCプロジェクター付)と応接セットを購入しました。テレビは学校エントランスホールに設置し、赤十字関係DVDを常時放映しています。応接セットは歴史資料を展示している遺芳の間に設置しています。

赤十字教育に活用させていただきます。(副学校長：樺山 たみ子)



季節の花々

中庭のリキュウバイ (バラ科ヤナギザクラ属)

110回生の入学を待っていたように中庭にリキュウバイが咲きました。

清楚で愛らしい花は、千利休とは関係ありませんが、茶花の根締め、添えに利用されます。千利休が生きていた時代より300年後の明治、中国から渡来しました。

(専任教師：糟谷 緑)



オープンキャンパスのお知らせ

日時：8/6・13・20(水) 14時～16時(2時間程度)

場所：姫路赤十字看護専門学校

催し：校内の施設見学や上級生による催しを計画中
申し込み：本校まで電話で申し込んで下さい。

(☎079-299-0052)

*お会いできることを楽しみにしています。

編集後記

新年度を迎え、さらには学校長の交代、学校創立100年目という節目にあたり、今一度、教育について考える機会となりました。どのような教育をすれば本校の教育理念にあげている看護者を育てることができるのか。果たして自分自身はその目標に近づくためにどのように教育にあたっているのか、日々行動しているのか、自分自身は目標に近づいているのか等、答えを求めて右往左往、もがきながらの毎日です。答えは求めても与えられず、自分で考えるしかないことを実感する日々です。

今年度も年3回の発行を目標に頑張りますので、よろしくお願ひします。(専任教師：名村 かよみ)